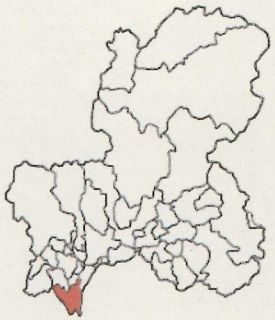
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

海津中央地区（岐阜県海津市）

海津中央地区（岐阜県海津市） 現況図



交付限度額算定表（その1）

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	136.4 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	42,044.0 百万円	X≦Yゆえ、 本計画における交付限度額	136.4 百万円

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 3,656,000 ㎡

公共施設の上限整備水準

区域面積(㎡)			9,140,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合		区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	○	その他の地区	0.40

Cl 0 円/㎡

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/㎡)	

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/㎡)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/㎡

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(㎡)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap 0 ㎡

公共施設の現況整備水準

□ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(㎡)	0

□ 個別公共施設の積み上げ

	面積(㎡)	割合
道路		-
公園		-
広場		-
緑地		-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 42044 百万円

ΣCn 0 円

□ 下水道 0 円

区域面積(㎡)	9,140,000
うち現況の供用済み区域面積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	3,600

□ 地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(㎡)	9,400
標準整備費(円/㎡)	380,000

□ 調整池 0 円

調整池の容積(m³)	
標準整備費(円/m³)	140,000

□ 河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

□ 住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)		超高層	
		一般	
		合計	0
標準整備費(円/戸)		超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

□ 市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(㎡)	
標準共同施設整備費(円/㎡)	132,000

□ 電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

□ 人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	5,300,000

□ 協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 42044 百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	261 百万円
	提案事業(B)	80 百万円
	合計	341 百万円

[1]式	α1=4(A+B)/5=	273
[2]式	α2=10A/9=	290
交付限度額(X)		136.4 百万円

□ 交付要綱第5 3)式の適用〔提案事業2割拡充〕
□ 平成20年度二次補正予算の執行
□ 交付要綱第5 4)式の適用〔中活等の45%拡充〕
□ 4)式の適用の場合、経過措置の適用